

【広島】ビズリンク・アドバイザリー

（広島市）は中四国の企業を中心に事業再生や財務などに関するアドバイザリーを提供する。

地方では珍しい事業再生の専門家集団で公認会計士4人が常駐。2006年の設立以来、300件以上の再生案件に携わってきた。公

# 地域の事業再生“専門医”

認会計士で代表パートナー

の藤井義則氏（54）は36歳の時、あずさ監査法人から独立。財務上の大病を患った企業が頼りにできる“専門医”として365日対応できる体制を敷く。

——独立のきっかけ。

「広島には立派な企業がたくさんあるのに、企業が大病を患うと広島の会計士では対応できないケースが多かった。東京から専門家を呼ぶ姿を情けなく感じて

## インサイト insight

キーパーソンに聞く

<149>

### ビズリンク・アドバイザリー

代表パートナー

藤井 義則 氏



いた。地元のこととは地元の“専門医”で解決できるようにしたいと思った」

——サービスの強みは。

「経営難の企業の財務データやデリジエンスを実施し事業再生の基礎になる経営改善計画の策定支援を得意

としている。メンバーには銀行出身者も多く、私自身は前職時代に広島銀行の監査を担当していた。銀行の自己査定の仕事作りにも関わらせて頂いた。銀行の立場を理解したうえで債権カッターを含む再生計画を検討できることが強みだ」

——重視すること。

「独立後の初案件は債務超過の企業だった。債権カッターを含む再生計画を提案したが、債権者の金融機関も簡単に認められるものではない。関係者と粘り強く交渉して約1年間かけて対応した。無事に事業が継続し、当時の社長から事業を譲られた息子さんの結婚披露宴に招待された時はうれしかった。この経験から債権者にも債権者にも偏らない、公平・公正・中立の意思決定を行うように努めており経営理念としている」

——事業計画のモニタリングを強化する。

「企業を平時から支える手段として『デットIRRサービス』を始めた。金融機関と経営者の間に立ち両者のリレーションを強化する。信用度の高い決算情報を提供して企業の信用を補完。経営者の保証解除など両者の円滑な関係維持に貢献したい」（樋野正人）

